

株式会社パソナグループ 広報室  
 〒100-8228 千代田区大手町 2-6-4 TEL . 03-6734-0215  
 (2168 東証第一部) URL . <http://www.pasonagroup.co.jp>

2012年3月30日  
 ページ 1/10

## パソナフレッシュキャリア社員制度

### 『就職活動学生の“仕事”と“就活”に関する意識調査』

東日本大震災によって就職活動に影響があった 「はい」 37.0%  
 ギャップタームにやってみたいこと「インターンシップなどの就業体験」 30.3%

株式会社パソナグループ（本社：東京都千代田区、代表取締役グループ代表 南部靖之、[www.pasonagroup.co.jp](http://www.pasonagroup.co.jp)）は、働く意欲がありながら就職することができなかった若者に、社会人として必要な教育研修と就労機会を提供する『パソナフレッシュキャリア社員制度』を2010年から実施し、これまでに約4,000名の就職支援を行ってまいりました。

今年大学を卒業する4年生は、昨年の東日本大震災によって就職活動期間が変更し長期化するなど、当初計画していた活動ができなかった若者も少なくありません。今年2月1日時点での就職内定率は80.5%となり、昨年同月比から3.1%回復しているものの、今年も大学や短大含めて10万人前後の若者が就職を希望しながらも働くことができない状況が続いています。

また現在の3年生は、経団連「採用選考に関する企業の倫理憲章」が変更されたことで、会社説明会等に参加する就職活動の開始時期が2ヶ月遅れており、大学での学業に専念できる一方で、例年と異なるスケジュールで就職活動を行うため、企業研究期間が短くなるなどの懸念がなされています。

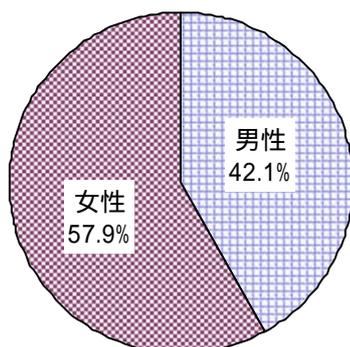
そこでパソナでは、今月3月3日に現在就職活動を行っている大学生を対象にした『パソナグループ 職博“若者のチカラ”』を開催し、卒業を間近に控えた大学生や短大生などの未内定者に「合同企業説明会」や「パソナフレッシュキャリア社員制度」説明会を実施したほか、就職活動で役立つ「面接対策講座」や「身だしなみ講座」などを開催しました。

当日は、1,000名を超える若者が参加しており、就職活動を行っている学生に『「仕事」と「就活」に関する意識』を探るアンケート調査を実施致しました。

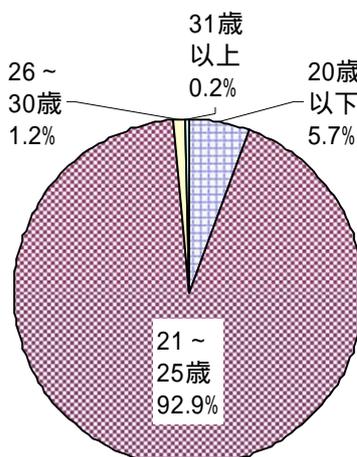
#### 調査概要

実施日時 : 2012年3月3日(土)  
 実施対象 : 「パソナグループ職博“若者のチカラ”」参加者  
 実施方法 : アンケート票記入方式  
 回答数 : 492件

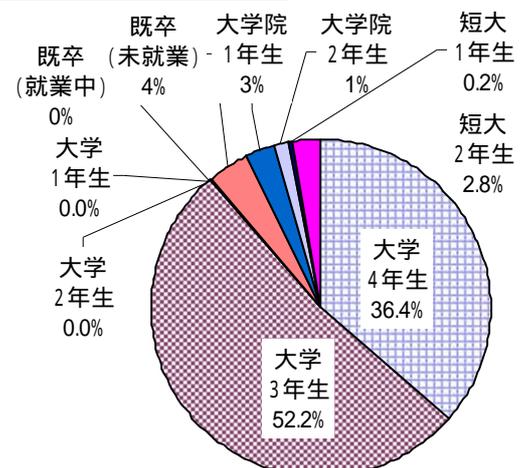
性別



年齢



現在の就学・就労状況



株式会社パソナグループ 広報室  
 〒100-8228 千代田区大手町 2-6-4 TEL . 03-6734-0215  
 (2168 東証第一部) URL . <http://www.pasonagroup.co.jp>

2012年3月30日  
 ページ 2/10

## 調査結果

「就職先」を探すときに重視するもの 「自分の成長ややりがい」 51.6%  
 望ましい「働き方」 「個人の生活と仕事のバランスをとって働く」 58.5%  
 東日本大震災によって就職活動に影響があった 「はい」 37.0%  
 「ギャップターム」にやってみたいこと「インターンシップなどの就業体験」 30.3%

就職先を探すときに重視するものとしては、「会社の雰囲気」(53.3%)、「自分の成長ややりがい」(51.6%)、「仕事の面白さ」(40.0%)と続いており、会社の規模や給与などの条件面よりも、**“仕事を通じた成長や満足度”が重視**されていることがうかがえます。

望ましい働き方としては、「個人の生活と仕事のバランスをとって働く」(58.5%)、「自分に合った会社で長く働く」(53.3%)、「環境変化に適応できるよう常に学びながら働く」(32.1%)、「ライフステージに合わせて働き方を変える」(19.9%)が上位に続き、ワーク・ライフ・バランスを考えながら、**“働き方を柔軟に変えキャリアの構築を目指している”**ことがわかりました。

昨年3月11日の東日本大震災による就職活動の影響を尋ねたところ、影響があったとの回答(「はい」)は37.0%となり、具体的な回答として「説明会日程の変更などの就職活動のスケジュールに影響があった」(21.4%)が最も多く、次いで「仕事に対する考え方、価値観が変わった」(12.6%)、「国や社会に貢献したいと思うようになった」(12.1%)となり、学生の仕事に対する価値観にも影響を与えていることがうかがえます。

また、大学の「秋入学への移行」の発表にともない注目されている「ギャップターム」について、この期間にやりたいことをたずねたところ、「長期旅行」(40.2%)に次いで「インターンシップなどの就業体験」(30.3%)、「ボランティアなど社会貢献活動」(25.6%)と続いており、この期間を有効的に活用して学業以外の**“社会経験を積んでみたい”**と考える学生が多いことがわかりました。

新卒学生の就職環境は、2008年のリーマン・ショック後、企業が採用数を絞り込んだため、就職を希望しながらも働くことができない若者が急激に増加しました。在学中の限られた期間に自分の適性を判断して就職先を探す現在の新卒就職活動では、採用企業の選択肢が乏しくなると、自分のやりたい仕事に就くことができない若者が増え、雇用のミスマッチが拡大します。

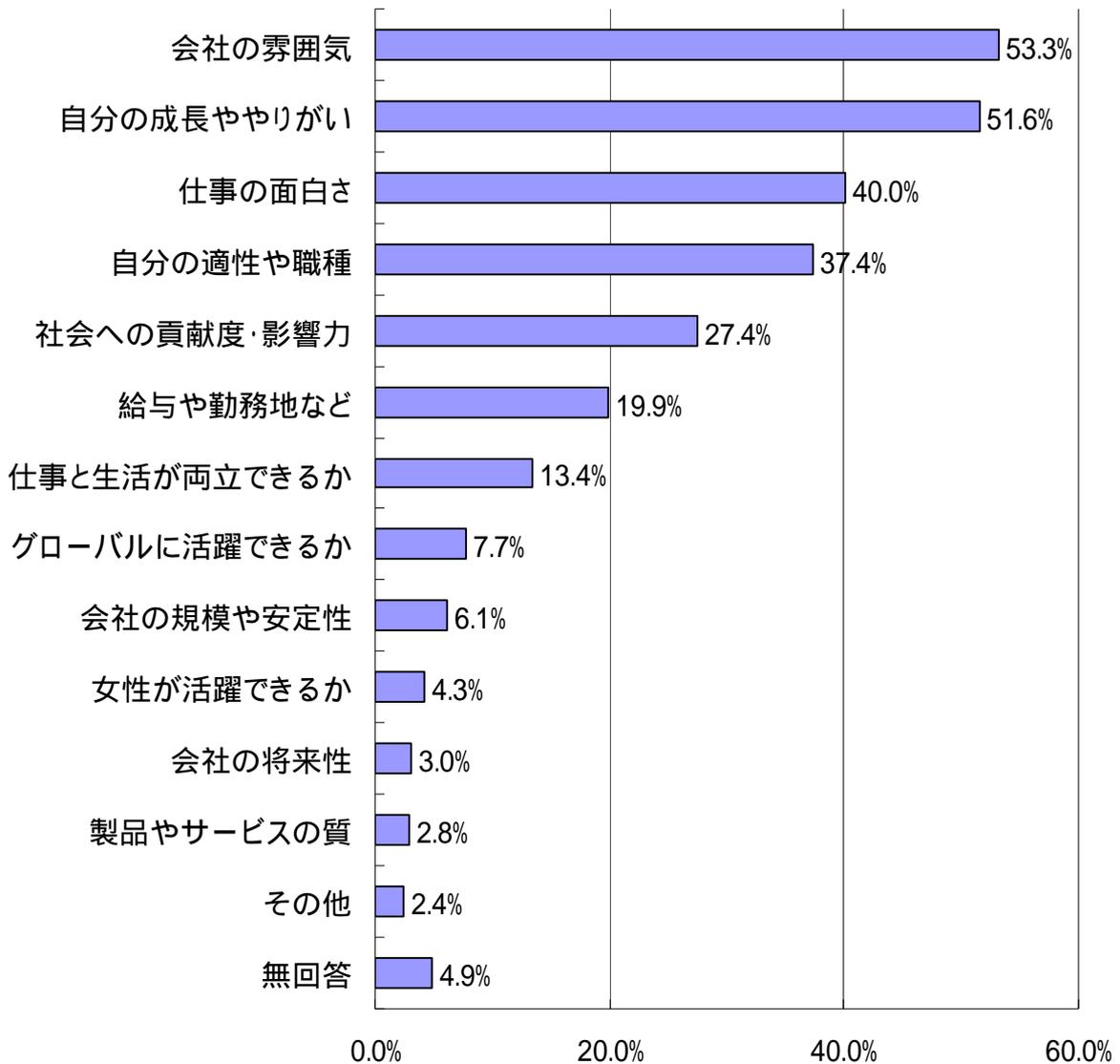
今回のアンケート結果から、就職先を選ぶ際に重視することや望ましい働き方として、「自分に合った環境(会社、働き方)」や「成長ややりがいを感じられる仕事」が上位に選ばれていることに加え、ギャップターム期間に希望していることが「インターンシップなどの就業体験」が最も多く選ばれていることから、若者はそれぞれの価値観に合った仕事や働き方を希望しており、社会に出るために様々な経験を積んで視野を広げ、自身の能力開発につなげたいと考えている様子がうかがえました。

若者の就労促進を促すには、彼らの多様な価値観を認め、在学期間あるいは学校卒業後であっても複数の選択肢の中からやりたいことに挑戦できる機会を提供し、キャリア形成ができる仕組みが必要であると考えられます。

報道関係者お問合せ  
 株式会社パソナグループ  
 広報室 角田、根本

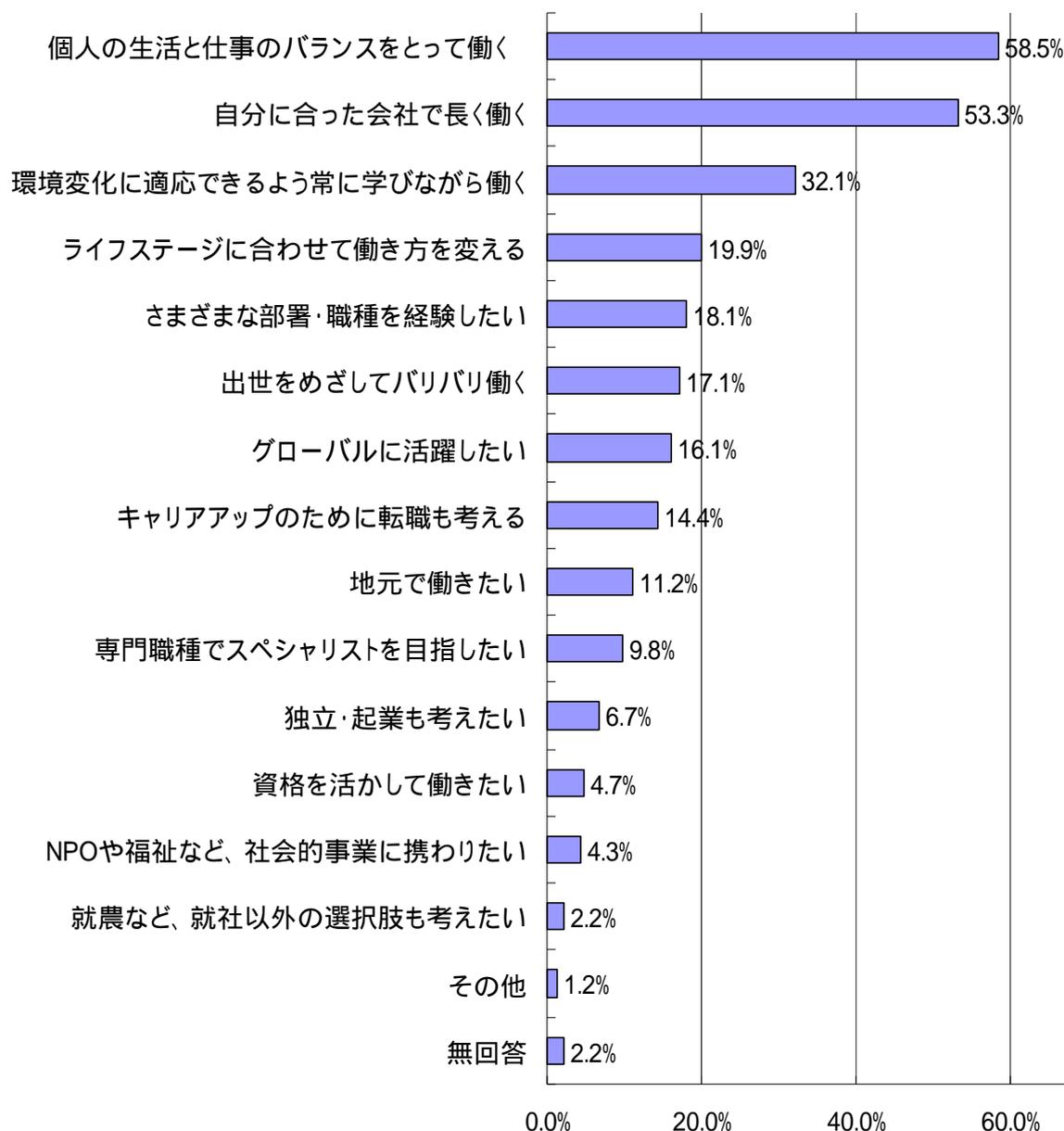
TEL : 03 - 6734 - 0215  
 E - MAIL : [p.kohoshitsu@pasonagroup.co.jp](mailto:p.kohoshitsu@pasonagroup.co.jp)

### Q 1 . 就職先を探すときに重視するもの (上位3つまで回答)



就職先を探すときに重視するものとして、会社の規模や給与などの条件面より、「会社の雰囲気」(53.3%)、「自分の成長ややりがい」(51.6%)、「仕事の面白さ」(40.0%)、「自分の適性や職種」(37.4%)など、仕事を通じた成長や満足度が重視されていることがうかがえる。

## Q 2 . 望ましい働き方 (上位3つまで回答)



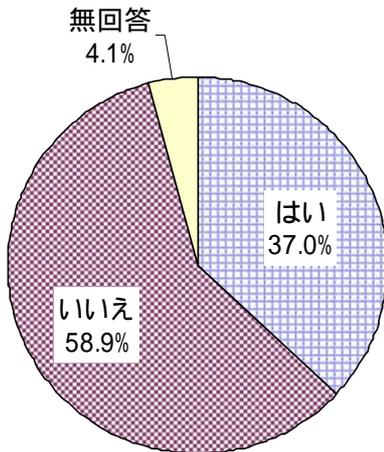
望ましい働き方としては、「個人の生活と仕事のバランスをとって働く」(58.5%)、「ライフステージに合わせて働き方を変える」(19.9%)など、個人の生活を重視する考え方と、「環境変化に適応できるよう常に学びながら働く」(32.1%)、「さまざまな部署・職種を経験したい」(18.1%)などキャリアを重視する考えた方がほぼ同じ割合であげられた。「自分に合った会社で長く働く」も53.3%と半数以上の人があげており、自分にあった環境で働き方を柔軟に変えながらキャリアの構築を目指していることがうかがえる。

株式会社パソナグループ 広報室  
 〒100-8228 千代田区大手町 2-6-4 TEL . 03-6734-0215  
 (2168 東証第一部) URL . <http://www.pasonagroup.co.jp>

2012年3月30日  
 ページ 5/10

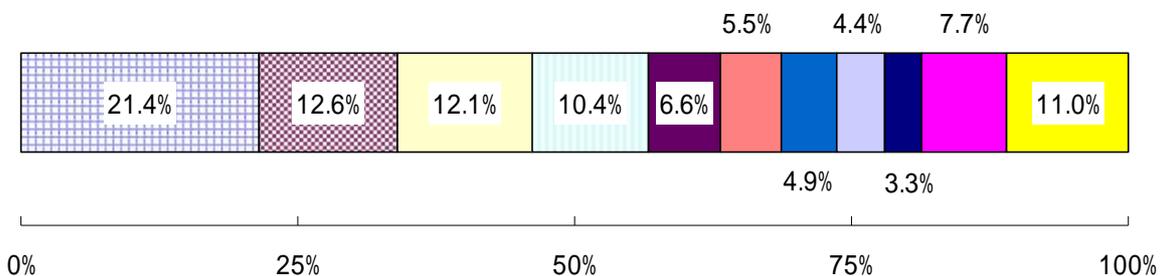
東日本大震災の就職活動への影響について

Q3 . 東日本大震災で就職活動や仕事観に「影響・変化」があったか



(Q3で「はい」と回答した182名、自由記述を主な分野に分類)

Q4 . 東日本大震災で、就職活動や仕事観に具体的にどのような「影響・変化」があったか



説明会日程の変更など就職活動のスケジュールに影響があった	21.4%
仕事に対する考え方、価値観が変わった	12.6%
国や社会に貢献したいと思うようになった	12.1%
人生に対する考え方、価値観が変わった	10.4%
就職を希望する企業選びに変化があった	6.6%
就職活動をやめた。やる気を失った	5.5%
就職環境が悪化した	4.9%
東北地方への就職、復興支援を考えるようになった	4.4%
地元での就職を考えるようになった	3.3%
その他	7.7%
無回答	11.0%

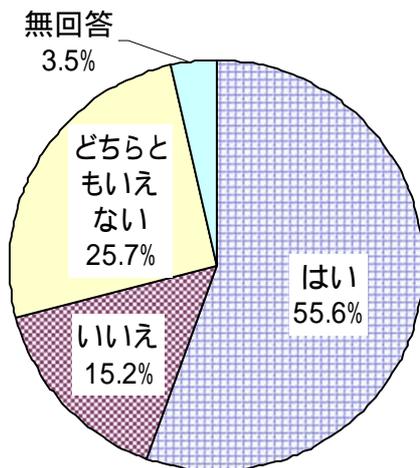
震災の影響があったと答えた人 182 名に自由記述で具体例をあげてもらったところ、「説明会日程の変更など就職活動のスケジュールに影響があった」(21.4%) がトップにあげられたが、それ以外では「仕事に対する考え方、価値観が変わった」(12.6%)、「国や社会に貢献したいと思うようになった」(12.1%)、「人生に対する考え方、価値観が変わった」(10.4%) など、仕事や生き方に対する価値観の変化をあげる声が続いた。

株式会社パソナグループ 広報室  
 〒100-8228 千代田区大手町 2-6-4 TEL . 03-6734-0215  
 (2168 東証第一部) URL . <http://www.pasonagroup.co.jp>

2012年3月30日  
 ページ 6/10

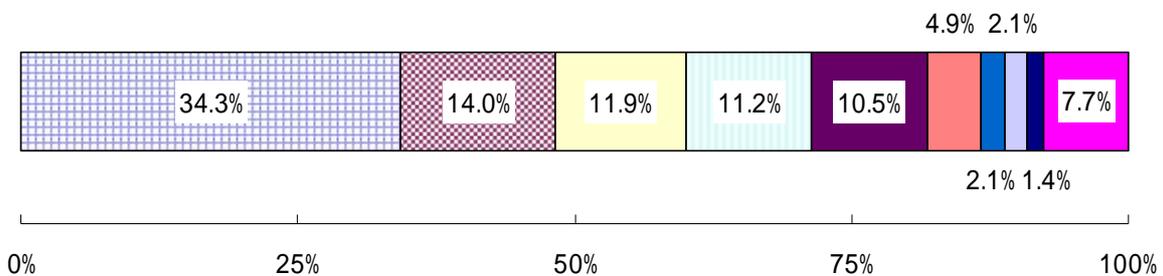
「採用ルール変更」について

Q5 . 「採用ルール」の変更により就活期間が2ヶ月短くなったことで影響がありましたか？  
 (大学3年生 257名)



(Q5で「はい」と回答した143名、自由記述を主な分野に分類)

Q6 . 採用ルールの変更による具体的な「影響」は？



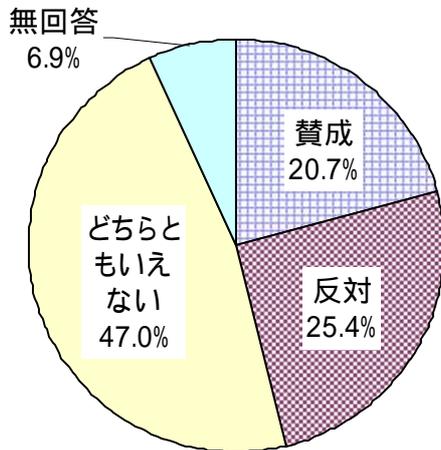
企業や業界研究の時間が短くなった	34.3%
開始が遅くなることで焦りを感じた	14.0%
説明会やセミナーに参加しにくくなった	11.9%
就職活動を満足に行うことができなかった	11.2%
学校との両立など、時間を有効に使えた	10.5%
前例がないので、これまでの話が参考にならなかった	4.9%
期間が短い分、集中することができた	2.1%
自己分析などの準備をじっくり行うことができた	2.1%
その他	1.4%
無回答	7.7%

「採用ルールの変更」による影響があったと答えた大学3年143名に自由記述で具体例をあげてもらった。「企業や業界研究の時間が短くなった」(34.3%)、「開始が遅くなることで焦りを感じた」(14.0%)など、時間不足を上げる声が多かった。一方、「学校との両立など、時間を有効に使えた」は10.5%にとどまった。

株式会社パソナグループ 広報室  
 〒100-8228 千代田区大手町 2-6-4 TEL . 03-6734-0215  
 (2168 東証第一部) URL . <http://www.pasonagroup.co.jp>

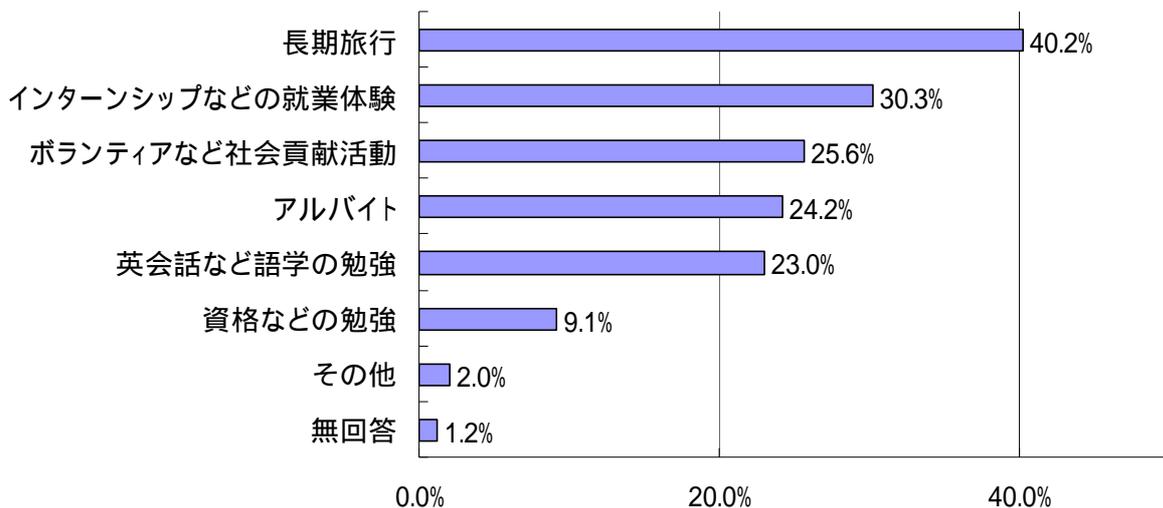
2012年3月30日  
 ページ 7/10

#### Q7 . 「採用ルールの変更」に賛成ですか？



#### 「ギャップターム」について

#### Q8 . 大学合格から入学までの「ギャップターム」があればやりたいこと（複数回答）



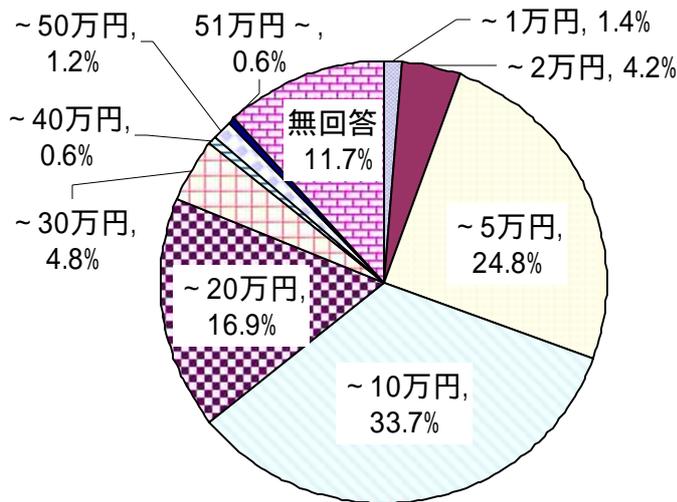
「ギャップタームに何をしたいか」をたずねたところ、「長期旅行」(40.2%)がトップにあげられた。次いで、「インターンシップなどの就業体験」(30.3%)、「ボランティアなど社会貢献活動」(25.6%)、「アルバイト」(24.2%)となり、語学や資格の勉強に比べて回答者の割合が多い結果となった。

株式会社パソナグループ 広報室  
 〒100-8228 千代田区大手町 2-6-4 TEL . 03-6734-0215  
 (2168 東証第一部) URL . <http://www.pasonagroup.co.jp>

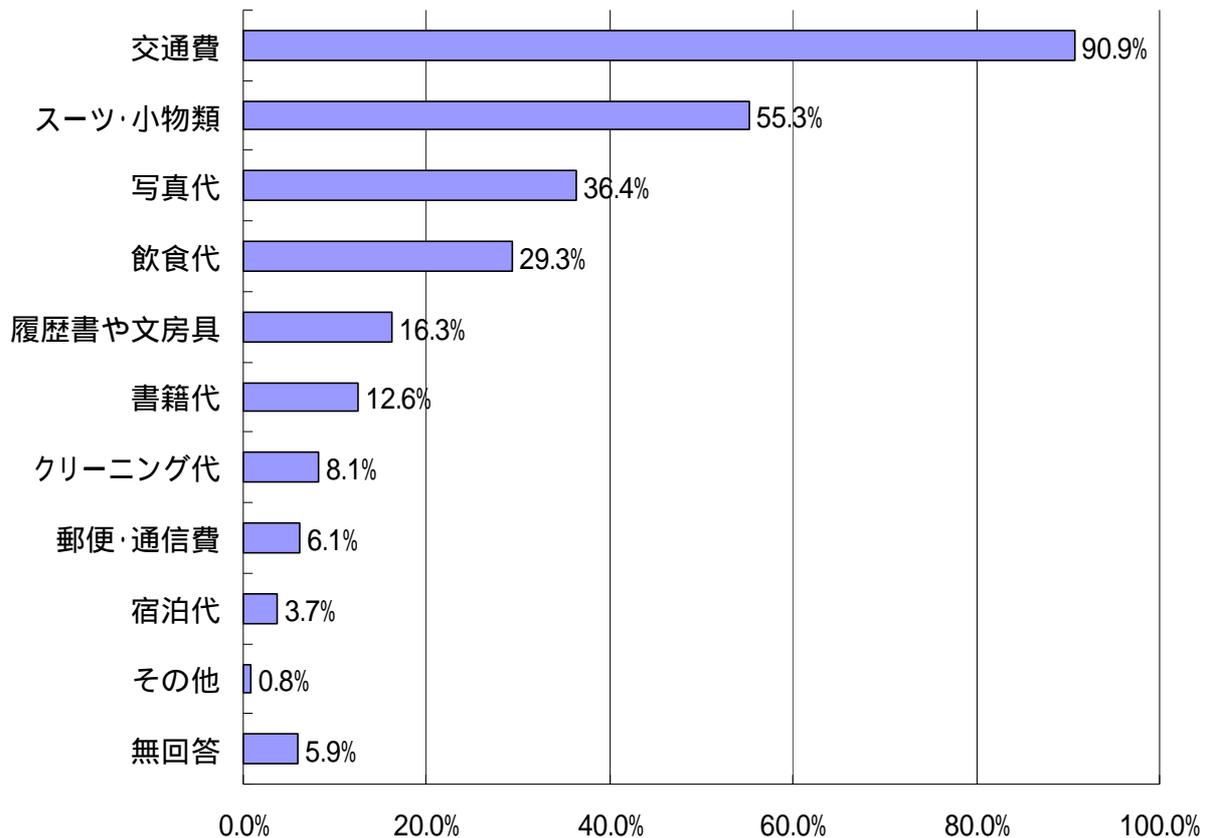
2012年3月30日  
 ページ 8/10

「就職活動」について

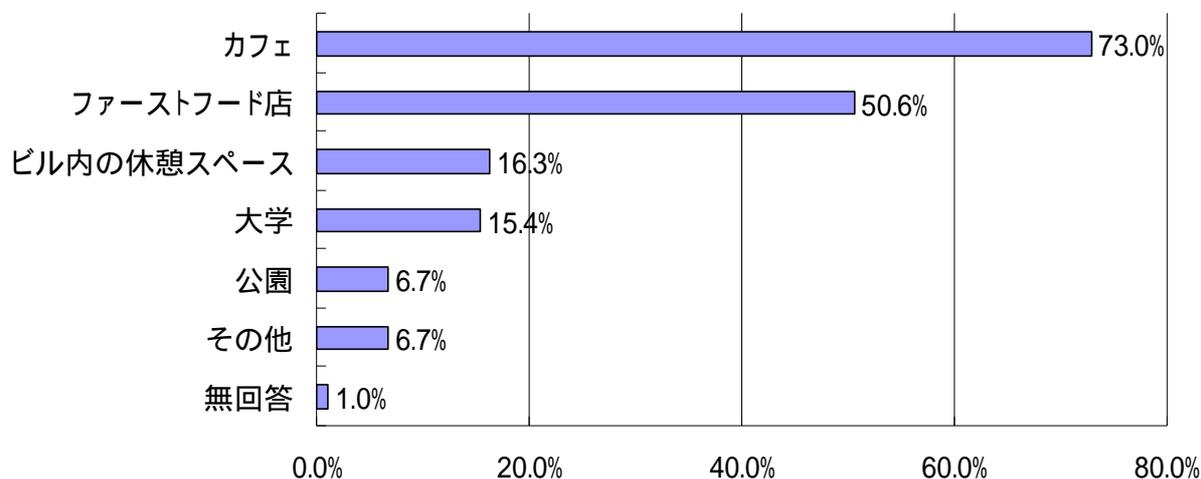
Q 9 . 就職活動をスタートしてからかかったお金



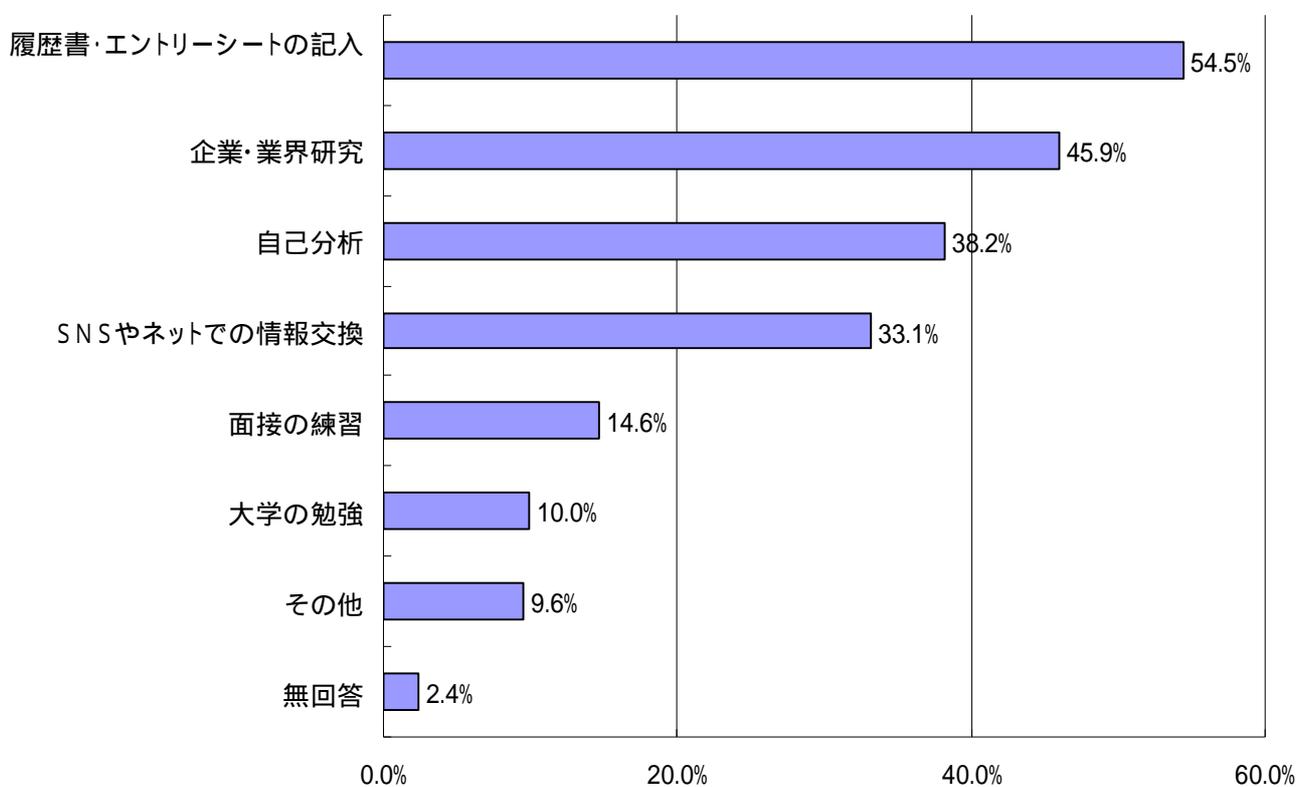
Q 10 . 就活でお金がかかったもの (上位3つまで回答)



### Q 1 1 . 会社訪問中など「就活の空き時間を過ごす場所」(複数回答)



### Q 1 2 . 就活の「空き時間の過ごし方」(複数回答)



株式会社パソナグループ 広報室  
〒100-8228 千代田区大手町 2-6-4 TEL . 03-6734-0215  
(2168 東証第一部) URL . <http://www.pasonagroup.co.jp>

2012年3月30日  
ページ 10/10

## 「パソナフレッシュキャリア社員制度」概要

就労意欲があるにも関わらず就職できない新卒未就労者を支援するため、2010年3月からパソナが実施している就職支援プログラム。卒業後のキャリアプランを作らずに、社会人として必要な教育研修とパートナー企業での就業機会を提供しています。ビジネスマナーやモチベーション研修などの「基礎研修」、職種や業種別に専門知識を身につける「高度専門職研修」を実施する『人材創造大学校』による教育研修プログラムを無料で提供し、これまで約4,000名の若者の支援を行っています。

また2012年4月からは、最長3年間はパソナの社員として社会人に必要なビジネススキルや専門知識を身につけながら、「グローバルビジネス」「農業経営」「ベンチャー起業」をテーマにしたコース別の就労機会を提供する「ギャップチャレンジプログラム」を開始いたします。

パソナグループでは、若者の多様な価値観に合わせた就労支援プログラムを実施することで、一人ひとりがイキイキと社会で活躍できる雇用インフラの創造を目指しています

### 【人材創造大学校「研修プログラム」】

#### 基礎研修

社会人として必要なスキル・知識を習得する研修

講座例 / ビジネスマナー、モチベーション、業種・職種についてなど

#### 高度専門職研修

夜間通学または休日など働きながらの受講が可能。

講座例 / 幅広い分野で人間力を向上させる各界の著名人による講義

P C、語学、経理、営業、販売など専門・職種別講座

### 【問合わせ】

株式会社パソナ 新卒キャリア支援プロジェクト

TEL 03-6734-1152 (東京) 06-6292-8222 (大阪)

#### 「基礎研修」

名刺交換などのビジネスマナーのほか、身だしなみやプレゼンテーションなど、社会人に必要な研修を実施しています



#### 2012年3月3日「パソナグループ職博」

4年生の採用を行う企業による合同企業説明会やカウンセリング、各種ビジネス講座を実施し、1,000名を超える若者が参加



報道関係者お問合せ  
株式会社パソナグループ  
広報室 角田、根本

TEL : 03 - 6734 - 0215  
E - MAIL : [p.kohoshitsu@pasonagroup.co.jp](mailto:p.kohoshitsu@pasonagroup.co.jp)